	事業所名	ラベンダー				支援プログラム				(児童発達支援)	作成日	2025	年	1	月	10	日
法人(事業所)理念		お子さま一人ひとりの心や個性を大切にし、あたたかい雰囲気の中で、ご家族が安心してお預けできる療育を目指しています。 個々の発達状況や特性に応じ、日常生活に必要なマナーやコミュニケーション能力、日常生活動作スキルを身につけて、少しでも安心して就学へ繋げられるようにご支援していきます。															
		定期的にお子さまのアセスメントやモニタリングを行い、それぞれのニーズに合わせた支援の提供。 職員全体で、子どもたちの発達状況や発達段階を十分に把握し、楽しんで取り組めるようなプログラムの立案。															
営業時間			11	時	00 分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり なし						
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・一日の生活! ・日常生活動作	Jズムを 乍のトレ	:身につけ ・ーニング	: ①食事: お箸	・スプ-	ーン、ファ	ォークの)使い方、	、少しずつ慣れていけるように 両手操作、 お食事をするとき 替え、ボタン操作、お片付け	の 咀嚼(噛む)や嚥下(飲み込む)す	る力	を育てて	ていきま	す。	
	運動・感覚	手指の巧緻性	生トレー	-ニング:	①製作活動(の)	り、ハヤ	サミ、折り	り紙、色	鉛筆等の	発達を促進するための身体の使 使い方) ②お箸、スプーン・ イメージ力の向上等を測った、	フォークの使い方 ③京	学へむけた	、運筆絲	東習を含 力に合わ	さ机上ト せて実施	・レーニ: 晒します。	ング
	認知・行動	・パーックや気	・集団生活や場面に応じた行動ができるように、SSTで絵カードを用いて説明していきます。(=集団生活でのルール、マナー:座る、並ぶ、待つ、お話を聞く など) ・パニックや気持ちの切り替えができるよう、見通しをつけた支援や声かけ、環境設定。 ・座って集中力が継続するよう、独自の課題や机上トレーニング ・就学に向けた数字、平仮名のトレーニング ・屋外や屋内での危険な場面を想定しながら、安全に過ごせるようなイメージの練習 など。														
	言語コミュニケーション	・言語表出が難しいお子さまには、絵カード、〇×、指差し、ジェスチャー等を活用したコミュニケーション方法を実施します。 ・STによる言語トレーニング(発音、言葉の組み立て方、応用:言葉で説明する力) ・表情筋やお口、舌の筋力を活用する運動 ・要求時や困った時の言葉の伝え方 ・絵カードや絵本を使って、言葉の理解や表出の練習 ・その他、日常生活の状況に合わせた言葉のトレーニング など															
	人間関係 社会性	・集団遊び:3	・お友達との関わり方:並行遊びや設定遊びをしながら、(お友達との言葉のやりとり、距離感、相手の気持ちや表情、関わり方など)を身につけていきます。 ・集団遊び:支援員が設定したルール遊び、ごっこ遊びをしながら、(ルールの理解、順番、協力、勝ち負けしたときの気持ちの調整など)を身につけていきます。 ・屋外でも落ち着いて過ごせるように、公共機関での過ごし方、お買い物に行った時のお約束、幼稚園や小学校へ就学した時の過ごし方など、SSTの絵カードを用い、分かりやすく説明。														
	家族支援	・療育での過ごし方を見学したり、支援内容のこ ・ご家族からの相談や悩み事に対しての助言 ・ご家族のレスパイト								移行支援	・保育園、幼稚園、小学校への情報共有						
	地域支援・地域連携	・関係している、児童発達支援事業所、相談支援 様子の報告や情報共有					所等への			職員の質の向上	・新入職員への研修 ・職員研修:外部研修に参加し、内部職員への伝達 ・法定研修:虐待、身体拘束、感染症、事故防止など						
	主な行事等 ・季節に合わせたイベント(月1回 1週間) : 例: 節分、夏祭り、クッキング、クリスマス会 など ※年度に応じて内容の変更あり																